

あつ 温ちゃん通信

第8号

2018.11.15
発行

発行・編集 やまね 温子後援会 〒739-1805 安芸高田市高宮町原田1378

Tel/Fax : 0826-57-1875 携帯 : 090-1180-1136

mail address : akoyamane@gmail.com

face book: やまね温子後援会 ホームページ: yamane-atsuko.com



選手への期待とエールの
赤い風船が舞ったズムスター



駅伝の季節の到来を告げる「スター式駅伝」
(9月23日)



つるし柿
つるすほどに
甘さ増し

みなさま お元気ですか？

「少年の日」

山々が紅く染まり始めました。朝夕の
冷え込みに、長袖を、さらに上着をと着
込む日々となりました。体調管理のむず
かしい時期、うがい・手洗いをしつかり
いたしましょう。

さて、9月定例会では、自然災害によ
る多大な被害を乗り越え、日々の暮らし
を取り戻せるよう約27億円の災害復旧関
係費が承認・可決されました。1日も早
い復旧を願います。

秋といえば、食欲の秋、そしてスポー
ツの秋、スポーツ選手の活躍に、さらに
2020年のオリンピックを目指す若者
の姿に、元気をいただいています。

さらに、カーブのリーグ3連覇、クラ
イマックスシリーズ勝利に湧いた広島、
そして日本一に向け最後まで諦めない頑
張りに感動しました。
また、今回の寄稿は戦時中の少年時代
の体験を綴っていただいております。
忘ることのできない、生きる方向を
決めた体験のご寄稿ありがとうございました。



私は、1941年4月に、広島市立觀音国民学校に入学
した。それまでの皇国民の練成をめざす尋常小学校が「國
民学校」に改められた。当時、私たち一家が住んでいた広島
市南觀音町辺には、江波沖の土地拡大工事で朝鮮半島から
多くの労働者が徴用され、その人たちの子どもがたくさん
いた。当然クラスの中に、その人たちの子どもが何人もいた。
氏姓改名はどうであったのか。どうも記憶が定かではない
が、「ボク君」「リーサン」などと呼んでいたような記憶があ
る。だいたい、私は本来粗忽で、多くの児童が所狭しと走り
回っている校庭で他の児童とぶつかって足の骨を折ったこと
がある。

私たちの教室は2階にあり、ギブスを当てた脚での昇り
降りは大変だったが、大柄な李君だったか、朴君だったかが、
私を背負って階段を昇り降りしてくれたその背のあたたか
さを今でもふとした時思い出すことがある。

戦争は日本の敗色を濃くし、食糧事情の悪化等もあって、
広島に原爆が投下される1年前の1944年1学期を終え、
八千代町（旧根野村）に引き揚げた。

どのような事情があったのか知らないが、広島市（觀音
国民学校）で二学期に終えた授業の内容がこちらでは二学
期に取り上げられていました。

だから、私は復習のようなものである。「できる」「でき
ない」もありはしない。ついつい成績もよい評価になる。合
わせて、それまで街の子だったからにかと肌合いが違った
感があつたのだろう。とにかくじめられた。学校に行くの
この時期である。この体験がそれ以降の私の人生に大きな
影響を及ぼした、というか、私の生きる方向を決定づけた。
時流にしたがつて流れ流され、自分の生活体験を忘れよう
とすることはもともと臆病な私は出来ないことであつた。

これでいいの？予算のつかいかた

9月6日から始まった定例会が28日に閉会しました。

9月定例会は主に29年度の予算がちゃんと使われているかをチェックすることが大きな仕事です。さらに、3月の当初予算（1年間の予算を年度始めにまとめて予算化したもの）で過不足のあるものを補正する予算についても審議します。

今回は7月の豪雨災害対応の補正予算はもちろんですが、補正として扱うのは適当と思えないものも予算化されており、これについて、私は以下のような修正案を委員会に提出しました。

観光施設の空調設備改修に多額の市債と基金を使う補助金は、将来への計画に基づいて当初予算にて計上されるべきものと考えます。

しかしながら、委員会での修正動議は提出者のみの賛成少数で否決となり、本会議では、災害対応が主な今回の補正予算の原案に賛成の立場での討論を行いました。

以下の修正動議を予算決算常任委員会に提出しました

【議案第65号平成30年度安芸高田市一般会計補正予算（第3号）に対する修正動議について】

上記の動議を、地方自治法第115条の3及び安芸高田市議会会議規則第99条の規定により、別紙修正案を添えて提出します。

(提案理由)

本議案、平成30年度安芸高田市一般会計の補正予算であるが、当初予算において主要事業として計画をされていない観光振興施設への多額の施設改修補助金が計上されていることに疑義をいただくものである。

安芸高田市が関わる市内観光施設については、平成30年8月20日の全員協議会において、「安芸高田市観光施設経済波及効果及び安芸高田市観光振興施設更新計画」の概要報告を受けたばかりである。

この計画において、当該施設は経営状況が極めて深刻であり、施設の規模や内容について、存廃を含め検討し、再構築などの対応が必要と考察されている。

本市の観光振興のシンボルとして、今後に向けて詳細な調査分析を行い、しっかりととした経営計画及び存廃も含めた方向性を検討したのちに予算化すべきと考える。

よって、本補正予算から削除し、補正予算の修正を提案するものである。

【歳入歳出予算補正】

◎歳入

(単位:千円)

| 款 | 項 | 修正案 金額 | 原案 金額 | 修正金額 |
|--------|---------|------------|------------|---------|
| 18 繰入金 | 3 基金繰入金 | 1,703,838 | 1,707,921 | △4,083 |
| 21 市債 | 1 市債 | 3,585,500 | 3,654,800 | △69,300 |
| 歳入合計 | | 23,950,965 | 24,024,348 | △73,383 |

◎歳出

(単位:千円)

| 款 | 項 | 修正案 金額 | 原案 金額 | 修正金額 |
|-------|---------|------------|------------|---------|
| 2 総務費 | 1 総務管理費 | 2,677,960 | 2,751,343 | △73,383 |
| 歳出合計 | | 23,950,965 | 24,024,348 | △73,383 |

“やまね温子”活動報告会を始めています

豪雨災害後ではありましたが、7月下旬に市内にて活動報告会をさせていただきました。約20名の方々にお集まりいただき、昨年政務活動費において研修させていただいた安芸高田市の財政分析報告と皆様方からのご意見や、こんなまちであってほしいというご要望をいただきました。

定年後の年金生活者が安心して生活できる環境づくりに一考をお願いしたい。

私は国民年金生活者です。年金で生活できません。一生懸命野菜を作っています。普通の生活ができるようになりたいです。

ため池の管理者が明確になっていないところがある。市の方で確認されているのか。

荒廃地が増えている淋しく感じる。土地を利用し若者が働く場所を、会社勤め教育ではなく耕作（ものづくり）教育をしてはどうか。AIにより働く場がなくなるのでは。

財政調整基金は何らかの運用をされているのか。

議会をあげて行政評価によるコスト検証の徹底を。

働きやすい企業、若者のための仕事とは、具体的にどうすればいいのか、何をすればいいのかわかりやすく説明して欲しい。

人口減少対策に、なにか良いアイデアはないか。

廃校になった校舎などの利活用の問題は以前からわかっていたことなのに今になって考えるのか。

「道の駅」に関わる会社には、地元の人を雇用し、地元の食材を使用して欲しい。

親が子をいじめ、子が親を殺すような社会ではなく、老いも若きもともに笑える時代になって欲しいです。

子どもたちの心は今のこの町にはない。この町を住んで楽しい町にしたい。遊び・食・宿泊・交通によって楽しい町を目指したい。

現実の生活中からの声、議会への要望、子どもたちの将来を案じてのご意見、将来の安芸高田市に望む姿などたくさんのご意見、ご要望ありがとうございました。

国民年金で生活できるまち、親子孫世帯がともに暮らせるまちに、また社会状況が変わりつつある中でも生きる力を持つ子どもたちを育み、命の源の食を大切に、公共交通網で免許を返納しても楽しめるまち、財政的にも健全化に向かう安芸高田市に向けて、これらも頑張ってまいります。

今後とも、よろしくお願ひいたします。



始めましょう

10月はピンクリボン月間



月に一度のセルフチェックを!

(自己検診)

乳がんの定期検診と
セルフチェックで
大切な命を守りましょう!

安芸高田市で開催されたイベントで、乳がんの早期発見・治療に向けた検診啓発のピンクリボン活動を市民団体「スマイルあきたかた」として行なっています。

今回は、たかみや大地の祭りで、活動させていただきました。子供連れの若いお母さんは、乳房のしこりに乳がんの不安を抱くこともあります。視触診モデルで乳がんのできやすい部位や触った感じを体験していただきました。

乳がんは自分で気づくことができる癌です。定期的な検診と月に一度のセルフチェックで早めに見つけ治療すれば、5年生存率は90%。大切な命を守りましょう。



たかみや大地の祭りにて(10月21日)

乳がん教育用視触診モデルを
使っての体験

乳房の中でも乳がんのできやすいところは、左右の乳房の外側上部、黒い矢印で示した赤い斜線部分に5割近くができると言われています。もちろんそれ以外の部分にできる割合も、決して低いものではありません。また、乳がんの約90%は痛みがなく、気づかないこともあります。

普段から、セルフチェックで自分の身

体の変化に気づくことが大切です。

- セルフチェックは毎月、生理が終わって一週間後頃に。
- 閉経後は月に1度、日にちを決めて。
- 入浴時に鏡に向かって、または仰向けに寝て。
- 指を揃えて、指の腹で、静かに軽く押さえながら、丁寧に調べましょう。



11人に1人

女性が乳がんになる確率

増える乳がん

特に40~60代は乳がんレッドゾーン

編集後記

1年に4回、定例会が閉会後に発行している温ちやん通信もお手頃となりました。いつもお手読いただきありがとうございます。人生を搖るがすような体験私の場合はセルフチェックで見つけた40代での乳がん、まだ学齢期の子どもたちのことを考えるところで死ねない」と、その頃の医療や患者会の情報を必死で調べたこと、幸運にもあれから17年経ちました。あの頃の乳がんは30人位に1人の確率が今や11人に1人の時代。他人ごとではなく、自分のこととして受け止め対応されることを願い掲載しました。さて、1期4年の議員として、任期の折り返し点です。議会における議決は全て多数決によるものであります。議員の代表として安芸高田市の将来への責任を持つ議員活動を続けてまいります。また、市民の皆様とのお話を交えた活動報告会をこれからも随時おこなっています。「希望があれば表紙の電話かメールにて連絡くださいませ」

山根 溫子